

基情本報	<保険始期> 令和 5年 6月 14日	<物件情報> 専用住宅	<構造級別> T構造
	<所在地> 千葉県 狹ヶ部市 狹ヶ部5-44-8		<職作業名> 住宅
評価情報	<建物情報>	<延床面積>	
	<建築年月> 令和 5年 6月	評価額の基準日は保険期間の始期日となります。	
		<専(占)有面積> 100.000㎡	

プラン	プラン A	プラン B	プラン C
保険期間 [基本 / 地震]	5年間	5年間	5年間 / 基本に同じ
建物	評価・支払基準	新価・実損払 (評価済)	新価・実損払 (評価済)
	協定再調達価額	20,000 千円	20,000 千円
	基本保険金額 / 保険料	20,000 千円 / 37,140円	20,000 千円 / 67,280円
	地震保険金額 / 保険料	千円 / 千円	千円 / 116,300円
評価・支払基準	千円	千円	千円
評価基準			
保険金額			
基本保険金額 / 保険料	千円	千円	千円
地震保険金額 / 保険料	千円	千円	千円

補償内容	補償の有無	補償の有無	補償の有無
火災、落雷、破裂・爆発	0円	0円	0円
風災、雹災、雪災			
水災	5万円 (盗難は0円)	5万円 (盗難は0円)	5万円 (盗難は0円)
建物外部からの物体の落下・飛来、水濡れ、騒擾、盗難			
不測かつ突発的な事故			
地震保険			

費用の区分	プラン A	プラン B	プラン C
地震火災費用保険金	保険の対象の保険金額 × 5%	保険の対象の保険金額 × 5%	保険の対象の保険金額 × 5%
凍結水道管修理費用保険金	実費 (限度額: 10万円)	実費 (限度額: 10万円)	実費 (限度額: 10万円)
臨時費用保険金	損害保険金 × 10% (限度額: 100万円または保険金額 × 10%のいずれか低い額)	損害保険金 × 10% (限度額: 100万円または保険金額 × 10%のいずれか低い額)	損害保険金 × 10% (限度額: 100万円または保険金額 × 10%のいずれか低い額)

補償を追加する特約等 / 保険料	プラン A	プラン B	プラン C
借家人賠償責任	×	×	×
修理費用	×	×	×
個人賠償責任	×	×	×
施設賠償責任	×	×	×
携行品損害	×	×	×
類焼損害	×	×	契約年度ごと 1億円 7,130円
家賃収入	×	×	×
事故対応等家主費用	×	×	×
事故再発防止等費用	×	×	×
IOT住宅費用 (売電収入)	×	×	×
IOT住宅費用 (サイバーリスク)	×	×	×
地震火災 (50° ラン・30° ラン)	×	×	×
営業用什器・備品等損害	×	×	×
商品・製品等損害	×	×	×

その他特約・割引	プラン A	プラン B	プラン C
建物電氣的・機械的の事故 ・建てかえ費用 ・築年数別割引		・建物電氣的・機械的の事故 ・建てかえ費用 ・築年数別割引	・建物電氣的・機械的の事故 ・建てかえ費用 ・築年数別割引 ・建築年割引
建物電氣的・機械的の事故特約の自己負担額は、不測かつ突発的な事故の自己負担額と同じです。			

払込方法	プラン A	プラン B	プラン C
合計 (各回) 保険料	37,140 円	67,280 円	190,710 円
年額保険料	円	円	円

1: 地震保険を除き、事故の区分ごとにお支払いする保険金は「損害の額 - 自己負担額」となります。(保険金額の2倍 (復旧費用は保険金額) を限度)
損害の額には、保険の対象を事故発生直前の状態に復旧するために必要な費用 (復旧費用) のほか、復旧に付随して発生する費用を含みます。
保険金額の設定、保険の対象の確認等により、損害の額の全額が補償されない場合があります。
2: 保険金をお支払いする事故が発生した場合に、被保険者が自己負担するものとして設定する金額をいいます。建物について全損の場合は自己負担額を差し引きません。
地震保険では、所定の確認資料のご提出により、建築年割引、耐震等級割引、免震建築物割引または耐震診断割引が適用される場合があります。
このお見積書は、概要を説明したものです。保険の詳細な内容は、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。